

=====

学会情報：新規入会・お知らせ・投稿・イベント等のご案内

=====

■新規入会のご案内■

- ・ウェブサイト上からご入会できます。
会費は年度制（4月～翌3月）です。
入会希望の方はこちらからお願ひいたします。
<https://www.nkg.or.jp/nyukai/>

ご不明な点は下記へお問合せください。

会員サービス係 Tel : 03-3262-4291 E-mail : kaiin@nkg.or.jp

- ・贊助団体会員リンク集

<https://www.nkg.or.jp/gakkai/mokuteki/sanjo/>

■お知らせ■

- ・日本語教育学会 Facebook <https://t.co/FCSBmkfR2q>
- ・日本語教育学会 X <https://twitter.com/NKGkouhou>
- ・学会誌『日本語教育』X <https://twitter.com/NKGgakkaishi>
- ・各種教育機関等の日本語教師募集情報をご案内しています。
<https://www.nkg.or.jp/boshu>

■発表募集■

- ・【9/25 締切】2025年度第2回支部集会（中国支部）
開催日：2026年2月22日（日）
会場：オンライン開催
https://www.nkg.or.jp/event/shibu/20250701_3003605.html
- ・【9/25 締切】2025年度第3回支部集会（関西支部）
開催日：2026年3月7日（土）
会場：追手門学院大学・茨木総持寺キャンパス（大阪府茨木市）
https://www.nkg.or.jp/event/shibu/20250702_3002898.html

■参加募集■

- ・【9/15 締切】2025 年度中部支部活動
日時：2025 年 9 月 20 日（土）13:00-15:30
会場：星城大学 名古屋丸の内キャンパス
参加費：500 円
https://www.nkg.or.jp/event/shibu/20250701_3023717.html

■刊行■

- ・学会誌『日本語教育』191 号 発行

＜閲覧・購入について＞

- ◆186 号以降の掲載論文の要旨（和文・英文）は無料公開中です。
掲載論文本体についても、会員でない方も閲覧・購入が可能ですので、ぜひご利用ください。
<https://www.nkg.or.jp/gakkaishi/yomu/>

- ◆186 号～191 号の掲載論文は、マイページからダウンロード可能です。

<https://m4.members-support.jp/NKG/>

本年度会費の納入が完了している会員の方は、無料です。会員でない方もマイページで「新規ユーザ登録」（無料）をしていただければ、以下の価格にてご購入いただけます。

1 論文あたり：550 円（税込）、1 号あたり：2,750 円（税込）

※いずれも決済時に別途手数料が必要です。

- ◆129 号以降、刊行後 2 年を経過した掲載論文は J-STAGE で閲覧可能（無料）です。

但し、執筆者からの公開許可を得たものが対象となります。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nihongokyoiku/-char/ja/>

- ◆冊子版の購入方法（会員・非会員共通）：

全国の書店よりご注文いただぐか、株式会社凡人社の麹町店または通信販売（送料別途）にてお求めいただけます。冊子版の価格は、「3,800 円 + 消費税」です。

＜掲載論文（収録順）＞

〔寄稿論文〕2024 年度秋季大会連動企画

- ・外国人介護労働者の受け入れと日本語教育
(二文字屋修)

【一般投稿】

〔論文〕

- ・『日本語教育』における質的研究的側面の分析—日本語教育学の体系化に向けて—
(伊藤翼斗、大河内瞳、香月裕介)
- ・プレイスメントテストにおいてどのテストがレベル判定に寄与しているのか
—L1 による相違と因子構造を考慮した検証—

(岩下智彦, 松下達彦, ボイクマン総子, 根本愛子)

- ・語注と L1 対応語彙化が読解における付隨的語彙学習に及ぼす影響
 - 中国語を母語とする日本語学習者を対象に—
(王舒茵)
- ・日本語教育における教育的対応—学習者支援のために日本語教員ができること—
(武田知子, 濵川晶, 保坂明香)
- ・統語的複雑さにおける日本語学習者の「話し言葉」と「書き言葉」の比較研究
 - I-JAS のストーリー描写課題の場合—
(李文平, 劉海濤)
- ・日本語母語話者と習熟度別の中国人日本語学習者による談話標識「いや」「いえ」「いいえ」の分析—日本語学習者コーパス I-JAS を用いて—
(彭津)

〔研究ノート〕

- ・日本語聴解テストにおける選択肢の有無が結果に与える影響
(島田めぐみ, 岡部康子, サスミタレギウィジャヤ, 佐藤孝一, 谷部弘子)
- ・パターン・ランゲージの研修効果に影響を与える諸要因の検討
(鍋島有希, 木下直子, 田中久実)

<フォント>このメールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。

■□-----□■

<発行者> 公益社団法人日本語教育学会 <https://www.nkg.or.jp/>

<編集者> 広報委員会

<発行年月> 2025年9月1日

■□-----□■